

記者発表（配付）資料

令和7年 月 日

所属部課	部長	館長	統括学芸員	担当	連絡先
萩市商工観光 部萩博物館	藤原章雄	大槻洋二	伊藤靖子 道迫真吾	平岡 崇 松尾優平	0838 - 25-6447

件名	萩博物館ではこの秋、二つの展示を同時開催します！ ①萩駅・東萩駅開業100年記念企画展 「萩に鉄道がやってきたー鉄路でつながるニッポンー」 ②没後400年記念テーマ展「長州萩藩祖 毛利輝元」
----	--

今から約百年前となる大正14年（1925）4月、当時の萩町では鉄道開通祝賀式と毛利輝元公三百年記念祭が盛大に執り行われました（下図）。今秋の萩博物館では、約百年前に萩の人々を沸き立たせた2つのテーマを取り上げ、萩駅・東萩駅開業100年記念企画展及び毛利輝元公没後400年記念テーマ展の**二つの展示を同時に開催いたします。**

1：展示概要

萩駅・東萩駅開業100年記念企画展「萩に鉄道がやってきたー鉄路でつながるニッポンー」

現在のJR山陰本線にあたる鉄道が正明市駅（現在の長門市駅）から延伸する形で敷設され、大正14年（1925）4月3日に萩駅まで、11月1日には東萩駅まで開業しました。今から約100年前に初めて萩にやってきた鉄道は、遠く離れた都市とのヒト・モノの交流を盛んにし、地域の生活を支えてきました。

今回の展示では萩に鉄道が出来るまで、そしてできてからの様子を振り返ります。萩出身で「鉄道の父」とも称される井上勝の事績や、彼が尽力した日本最初の鉄道開通についてもご紹介します。

没後400年記念テーマ展「長州萩藩祖 毛利輝元」

本年、長州萩藩祖毛利輝元の没後から400年を迎えます。輝元は、安芸国を本拠として勢力を急拡大させた戦国の傑物・毛利元就を祖父に持ちます。輝元は、元就の没後、豊臣政権下の五大老の一角を占め、関ヶ原の戦いでは、西軍の総帥もつとめました。しかしながら、西軍は敗北し、輝元の領地は、中国地方八か国から防長二州（現山口県域）に削減され、長門国指月山麓に萩城を築き、萩市発展の基礎を固めました。

このテーマ展は、没後400年を迎えた毛利輝元について、関ヶ原の戦い以降を中心にご紹介するものです。輝元が大坂から徳川方と豊臣方の和議が結ばれたことを報せる歴史資料や、毛利輝元らを祭神として祀る志都岐山神社に奉納された重要文化財の刀剣など、実物資料24件を公開します。

また、今秋は毛利博物館、安芸高田市歴史民俗博物館と相互に連携し、毛利輝元没後400年に関する展示を開催しています。

2：会 期

令和7年10月4日（土）～12月7日（日）

3：会 場

萩博物館 企画展示室、人と自然の展示室

◆記者内覧会／オープニングセレモニー

【日時】令和7年10月3日（金）

記者内覧会：午前9時30分～

オープニングセレモニー：午前10時30分～

【場所】萩博物館企画展示室～エントランスホール

【内容】萩市長、毛利元敦氏（毛利家子孫・毛利報公会会長）
JR西日本あいさつ



萩鉄道開通・毛利輝元公三百年祭
ポスター（萩博物館蔵）

4：主催・共催・後援

主催：萩博物館特別展・企画展開催実行委員会

共催：萩市・萩市教育委員会

後援：山口県、山口県教育委員会、NHK山口放送局、KRY山口放送、TYSテレビ山口、yab山口朝日放送、エフエム山口、はあぶビジョン、株式会社エフエム萩

5：展示資料等

萩駅・東萩駅開業100年記念企画展「萩に鉄道がやってきたー鉄道でつながるニッポンー」(総点数50点)

- ◆100年前に執り行われた「萩鉄道開通・毛利輝元公三百年祭ポスター」
- ◆井上勝が英国の恩師に贈った「逢坂山隧道竣工記念小箱」
- ◆萩市とその周辺を描いた鳥瞰図「名勝萩と長門峡之図」
- ◆萩周辺や山陰本線沿線をモチーフとした「鉄道模型ジオラマ」

没後400年記念テーマ展「長州萩藩祖 毛利輝元」(総点数26点)

- 長州萩藩祖の肖像画「毛利輝元肖像」
- 毛利輝元が大坂の陣について重臣・渡邊氏に報せた「毛利輝元書状」
- 毛利輝元が愛用したと伝わる机「伝毛利輝元所用沢瀉紋散文机」
- 毛利輝元ゆかりの神社に奉納された刀剣「国指定重要文化財 太刀 銘光房(稲光)」

※展示期間：10月4日(土)～11月5日(水)

11月6日(木)～12月7日(日)は「国指定重要文化財 太刀 銘延吉」を公開します

※チラシに使用した画像データを提供いたしますので、ご入用の際はお申し出ください。

※関連イベント(別添チラシ参照)

○長州萩藩祖・毛利輝元没後400年記念講演会「広島城・萩城主期の毛利輝元と家臣団」

毛利輝元研究の第一人者による講演会。とくに広島城と萩城の城主であった時期(1591～1625)に絞って、家臣たちとの関係についてご講演いただきます。

- ・講師：光成準治氏(九州大学大学院特別研究員)
- ・日時：令和7年10月5日(日)午後1時30分から3時
- ・会場：萩博物館講座室 / ・定員：60名(予約不要) / ・主催：史都萩を愛する会

○鉄道ふれあいデー2025

本格的な鉄道模型(Nゲージ)の運転を体験できます。

- ・日時：令和7年10月11日(土)～13日(月・祝)午前9時30分～午後4時30分
- ・会場：萩博物館講座室 / ・参加費：無料(要観覧券)

○ギャラリートーク

担当学芸員が展示解説を行ないます。

日程：令和7年10月4日(土)、11月11日(火)、12月6日(土)計3日

※11月11日(火)は、萩博物館開館記念日のため萩市民は入館無料。

◆阿武川歴史民俗資料館

阿武川ダム建設・阿武川歴史民俗資料館開館50周年記念展示

【展示名】ふるさとの承継～阿武川流域の暮らし～

【会期】令和7年10月4日(土)～11月30日(日)

【内容】昨冬に萩博物館で開催した阿武川ダム建設50年記念企画展の関連展示として、阿武川歴史民俗資料館の展示解説・資料を一部更新しました。ダム湖に沈む以前の集落を写した古写真パネルや、新たに展示に加わった民俗資料を通じ、かつての暮らしを振り返ります。